

	チェック項目	はい		どちらとも いえない		いいえ		改善目標 工夫している点など
		数	比率%	数	比率%	数	比率%	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	75	1	25	0	0	法令で必要な広さは確保していて、2階はこまめに部屋があるのをういている。
	2 職員の配置数は適切であるか	3	75	1	25	0	0	・正職員とパート職員がいて人数が十分に配置されている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	25	3	75	0	0	階段があるので、車いす利用などの身体的な支援が必要な利用者さんを受けて入れる場合は検討が必要。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	100	0	0	0	0	毎日の打ち合わせや、事業所内支援会議は全員参加で、PDCAサイクルに添って行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	100	0	0	0	0	アンケートを参考に改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	100	0	0	0	0	4月に開所したので、2月以降に詳細をまとめてホームページにアップする予定。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	3	75	1	25	第三者委員会はないが外部講師や相談支援専門のアドバイスを参考にしている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	100	0	0	0	0	年に数回外部講師を呼んだり、事業所内研修を行っている。(研究療育)
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	100	0	0	0	0	送迎の再開き取り、定期的な面談によりアセスメントを行っている。また事業所内支援会議により適切な個別支援計画書が作成されている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	75	1	25	0	0	日本感覚統合学会JMAP、佐賀県教育委員会のアセスメントツールを使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	100	0	0	0	0	毎朝の打ち合わせのなかで、プログラムの立案をチーム全体で行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	100	0	0	0	0	特に土曜、祝日、長期休みでは、平日にできない活動や野外での活動、社会体験が出来る様にプログラムを工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	100	0	0	0	0	平日は基礎(基本的な生活習慣の自立、コミュニケーションの学習を中心に)長期休みなどは上記に加え地域活動、他事業所との交流、社会体験が出来る課題を設定している。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	100	0	0	0	0	朝のミーティングの際の療育について話し合い個別療育や小集団での療育が効果的に組み合わせ行えるようにしている。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	100	0	0	0	0	朝のミーティングを毎日行い子どもたちの様子や、支援内容の確認し、午後出勤の職員にも必ず伝え簡単に話し合いを共通理解をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	100	0	0	0	0	朝のミーティング、終了後のミーティングで課題の共有、振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	100	0	0	0	0	ケース記録、日誌をつけている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	100	0	0	0	0	定期的に6ヶ月に一度モニタリングを行っているが、子どもたちの状況、保護者のニーズの変更、目標の達成度などにより随時行う場合もある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	75	1	25	0	0	自立支援、日常活動、創作活動、余暇活動などの基本活動をガイドラインに従っていぶきの療育に取り込み立案し療育をおこなっている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	100	0	0	0	0	モニタリングや受給者証更新の時期に、相談支援事業所の相談員が来所し会議を開き話し合いの場をもっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	75	1	25	0	0	下校時間の変更、学級閉鎖などの連絡をいただいている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	3	75	1	25	現在医療的ケアの児童の利用はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	75	1	25	0	0	卒園・卒業前に担当者会議を実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	75	1	25	0	0	グループ内事業所では前年度実施しているがまだその対象の児童はおらず、対象児童が出た場合は行うように検討している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	50	1	25	1	25	子育て支援センター、児童発達支援センタースクールワーカー、子育て支援課、基幹センターからの助言や研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	3	75	1	25	今後の検討事項として取り組んでいる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	75	1	25	0	0	伊達市の自立支援協議会子ども部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	50	2	50	0	0	連絡ノート、送迎の際に現状や課題の共有及び課題のフィードバックを行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	75	1	25	0	0	今後、保護者への障がいへの理解や、悩みの軽減のためにも支援内容の説明、ペアレント・トレーニングを発信していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	100	0	0	0	0	施設見学や契約の時、モニタリング等の面談の際に、説明をしている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	100	0	0	0	0	0	連絡ノート、送迎の際に現状や課題の共有及び課題のフィードバックを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	75	0	0	1	25	0	父母の会はないが、芋煮会や事業所での行事の際に、保護者交流の時間を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	100	0	0	0	0	0	保原事業所では現在苦情は0件ですが、対応できるように体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	100	0	0	0	0	0	いぶきグループ通信を2か月に1回発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	100	0	0	0	0	0	鍵のかかる場所に書類を保管し持ち出しの不可を徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	100	0	0	0	0	0	保護者の方の考え方や子どもたちの特性に応じて配慮をして行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	2	50	2	50	0	今後の検討事項として話し合っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	75	1	25	0	0	0	職員間では月に1度マニュアルをよみあわせする時間を設けている。保護者の方々に入会の手続き時、モニタリングなどの担当者支援会議の際に確認していただくようにしている。 ・入り口児童の靴箱前にファイルを設置しいつでも閲覧できるようしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	100	0	0	0	0	0	定期的に行ってきている。夏に避難所までの避難訓練を行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	100	0	0	0	0	0	基幹センターの虐待防止講習を受けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	75	1	25	0	0	0	現在身体拘束が必要とする児童いない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	50	2	50	0	0	0	アセスメントの際にアレルギーについて聞き取りしているが、現在はアレルギーのある児童は在籍していない。今後在籍する場合は医師の指示書を、いただくようにする。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	100	0	0	0	0	0	0	事例集を作成し職員で確認している。